

活用ナビ

①【ねらい】米づくりの作業時間の変化がわかり、その理由について考える。

②● **キ**の題と出典を読みましょう。

● 縦軸、横軸は何を表しているか、書きましょう。

※縦軸については、「10a当たりの作業時間」ということをおさえる。10aは1000㎡であり、田んぼ1枚分程度と伝えたとわかりやすい。

③● 1960年に作業時間が多いものは何でしょうか。

● 1960年の作業時間の合計は何時間ぐらいでしょうか。

※比較のもととなる1960年の様子を確認する。

③● 1980年には、どのように変化しているでしょうか。

※作業時間が多いものと合計時間の変化に着目させる。

※同様に、2000年、2016年の変化を聞いていく。

③● 全体的にどのように変化しているといえるでしょうか。

※1960年からの全体的な変化の様子をとらえさせる。

④● 米づくりの作業時間が大きく減ったのはなぜでしょうか。

※機械化という考えはすぐに出てくるとされる。他の理由を既習内容から考えさせたい。

5年-5

2-1 米づくりのさかんな地域 よりよい米づくりをめざして

P70～P71

5年 組 番

名前

①【ねらい】米づくりの作業時間の変化がわかり、その理由について考える。

●【基本】 **キ**の題と出典を読む。

縦軸は（10a当たりの作業時間）

横軸は（年）

・何の作業時間の変化か、一つずつ読もう。

③【ポイント】 **キ**のグラフを読み取ろう。

・1960年に作業時間が多いものは何だろうか。

・1960年の作業時間の合計は何時間ぐらいか。

・1980年には、どのように変化しているだろうか。

稲かり、草とり、田植え

・2000年には、どのように変化しているだろうか。

合計の作業時間はさらに減り、1980年の半分ぐらいになった。

・2016年には、どのように変化しているだろうか。

さらに合計の作業時間は減った。どの作業時間も昔に比べ多くはない。

・全体的にどのように変化しているといえるだろうか。

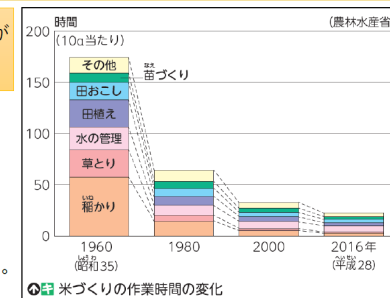
米作りの作業時間は大きく減った。1960年と比べると7分の1ぐらいになった。

④ 米づくりの作業時間が大きく減ったのはなぜだろうか。

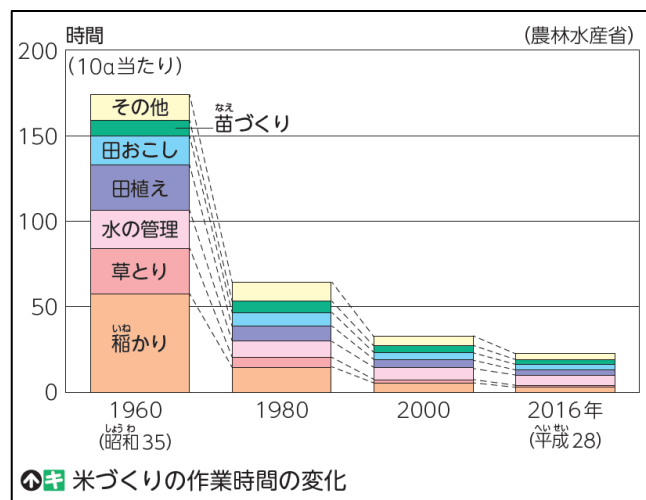
・機械化が進んで、一つ一つの作業に時間をかけなくてもよくなった。

・効果のある肥料や農薬が使われるようになって、稲を管理する時間が減った。

・品種改良が行われて、病気に強い稲が育ち、時間をかけなくてもよくなった。



資料の読解



このグラフは、1960年から2016年までの米づくりの作業時間の変化を表したものである。合計の作業時間が大幅に減少してきたことが一目でわかるだけでなく、作業の種類別も比較できるようになっている。1960年には、稲かり、草とり、田植えといった作業に時間がかかっていたが、それ以降の農作業の機械化、品種改良や農薬の使用といった米づくりの変化によって、米づくりの作業時間は大きく減った。

グラフの読み取りでは、全体的に大幅に減っていることは容易に理解できるであろう。それがどの程度減っているか、より具体的に理解させるためには、1960年の全体の作業時間から、どの程度減っているか年代ごとに数値に着目させるようにする。また、作業種別でも稲かりは激減している反面、水の管理作業は半分程度の減り方である。その違いに着目することで、より深い読み取りが可能となる。

読解の方法

- (1) 最初に基本項目として、題、出典、縦軸・横軸が表すものを確認する。時間は50時間ずつの目盛りになっていること、10a当たりの作業時間であることを確認する。また、大きく6つの作業が示されていることも確認する。
- (2) 次に、1960年の作業時間の様子を読み取らせる。作業時間がかかっているものと合計の作業時間を答えさせ、その後の比較の基準とする。
- (3) 1980年、2000年、2016年と3つのデータが示されているので、一つずつ比較をしていく。1980年の作業時間の減り方が大きいことを、具体的な数値（3分の1ぐらいになっている）でとらえさせたり、「稲かりと草とりが大きく減っている」と作業別に理解させたりする。
- (4) 全体的にどのように変化しているか、グラフの読み取りとしてまとめさせる。その後、その理由について追究させるようにする。